

第4回 尼崎 生と死を考える市民フォーラム

満席の大盛況！

飛び入りハフニングもありました・・・

10月17日(土)午後2時から「第4回尼崎生と死を考える市民フォーラム」が、尼崎商工会議所の7階大会議室で行われました。当日の午前中に激しいわか雨があり、多少心配しましたが、お昼頃からすっかり雨もやみ、日も差すようになりました。午後1時前から徐々に会場に人が集まりだし、開演前にはほぼ定員の150名近くの市民の方々がお集まりいただきました。今回で4回目ですが、毎回ほぼ満員のご参加をいただいております、本当にありがたく、企画し甲斐があります。過去3回のテーマは「がん」でしたが、今回のテーマは「認知症」という新しいテーマで取り組みました。

「認知症になっても住み慣れた地域で暮らしたい」というタイトルで、まず、当院から長尾院長が「認知症をもっと知ろう—医療・介護の基礎知識—」という演題で講演しました。医師の立場から認知症という病気についての基礎知識を説明し、認知症になったからといって病院や施設に入院・入所というばかりではなく、在宅における医療・介護の選択肢もあり、周囲の状況や家族環境等に応じてそれぞれ適した選択があることをお話ししました。



次に特別講演として、特定非営利活動法人「つどい場さくらちゃん」代表 丸尾多重子氏(通称:まるちゃん)に「認知症の家族と共に生きる」という演題でご講演をいただきました。「つどい場さくらちゃん」の活動は、介護ご家族やご本人が集まり、日頃の悩みや心配事を打ち明けたり、介護に関する情報交換や楽しいおしゃべりなど、集まったみなさんが食べ物を持ち寄ったり、その場で食事を作ったりしながら、笑いあり、涙あり、励ましあい、ささえ合っている「つどい場」です。自宅を開放して、そのような人の集まる場をボランティアで提供する丸尾さんってなんて素敵なんでしょう！



丸尾さんの活動は全国的にも紹介され、NHKの生活ホットモーニングやみのもんたさんの「朝ズバ」にもご出演されるなど、有名人です。丸尾さんは「みんな難しく考えすぎ。介護保険ができたけど制度に縛られてかえっておかしくなっている。困った時はお互いさまの精神で、ご近所さんで助けあいましょう」と呼びかけました。

最後に長尾院長と丸尾さんと「あいあいケアプランセンター」所長の山下和枝主任ケアマネジャーがパネラーとなり「認知ケア。施設か在宅か」というテーマで、会場からもいろいろな意見や質問を受けながら会場と一体となったディスカッションを行いました。

本フォーラムでは、今回の衆議院選挙で尼崎選挙区から当選した田中康夫議員も飛び入り参加するハプニングもあり、会場もビックリ！！ 田中議員からも長野県知事時代の経験談やこれからの医療介護を取り巻く様々な課題についても触れていただきました。



終始和やかで充実したフォーラムになったのではないかと思います。ご参加いただいた皆様、そしてボランティアで手伝っていただいたスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

